

委員の追加について

第12回円山川流域委員会で宇戸委員から退任の希望があったことを受けて、委員会後に以下の内容のアンケート調査を各委員を対象に実施しました。

アンケート内容

宇戸委員の退任による追加委員の必要性

必要な場合の候補者の選考方法

必要な場合に推薦する候補者

アンケート調査結果は以下のとおりです。

アンケート結果

回答者13名(全22名のうち)

宇戸委員の退任による追加委員の必要性

委員を追加する・・・6名

内訳 { ランドスケープの専門家を追加する・・・4名
 必要があるか否かを検討する・・・1名
 地元住民代表を追加する・・・1名

委員の追加はしない・・・4名

その他・・・3名(委員長に一任、現委員全体の観点から必要性を検討する)

必要な場合の候補者の選考方法

各委員が推薦する候補者の中から選考する・・・5名

公募する・・・0名

その他・・・4名(内容は次ページ参照)

必要な場合に推薦する候補者

2名の委員が記載

委員追加に関するアンケート調査結果

委員 項目	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
委員追加の必要性	その他		追加する	追加しない	追加する	追加しない	追加しない	追加する	追加する	追加する	追加しない	追加する	その他
理由・意見など	ランドスケープの専門家がいれば追加する	藤田委員長に一任します。	現委員全体の観点から、ランドスケープの専門家を補充する必要があるか検討する。	円山川は当分の間は緊急治水対策事業が進められるので、ランドスケープはそれ以後でよいのではないか。	宇戸さんの補欠はいります		これから新たに入ってきて、これまでの議論を共有するのが難しい。	各分野の専門委員は多数おられるが、実際に生活している地元住民代表の数が少ない。実情を知らない人が多い。	宇戸委員の視点は重要であり、今後の円山川を考える上で必要である。しかしランドスケープデザインに近しい分野の人が見つからないのなら、追加する必要はない。	ランドスケープ関係に強い委員がいる方がよいので。		ランドスケープデザインの専門家意見を聞く必要があると思います。	現委員全体の観点から、ランドスケープの専門家を補充する必要があるか検討する。
必要な場合の候補者の選考方法	その他		各委員が推薦する候補者の中から選考	その他	その他			各委員が推薦する候補者の中から選考	その他	各委員が推薦する候補者の中から選考		各委員が推薦する候補者の中から選考	各委員が推薦する候補者の中から選考
意見	委員からの推薦があればその中から適任者を選ぶ。推薦がない場合は公募する。			必要な場合は合議する。					宇戸委員に、ランドスケープデザイン関係の方を教えていただき、その中からお願いする人を決める。	選考に時間をかける余裕がないと思われるので、適当な方がおられるのなら、候補をあげていただき、委員会で即決する。		藤田委員長と川合茂委員に一任とする。	事務局の推薦
必要な場合に推薦する候補者								地元住民の代表		ランドスケープデザインの専門家			
推薦理由								円山川下流域における治水対策について非常に高い関心を持っておられ、流域委員会の傍聴もされ、実情を知っておられます。					